

### 3. 基本理念及び目標

「にいがた未来ビジョン（新潟市総合計画）」の方向性を十分に踏まえ、本計画の基本理念を定めます。

#### 基本理念

**多様な住環境の中で 地域や家族とつながり  
安心して住み続けられるまち にいがた**

農村部の田園・自然に囲まれた比較的広い戸建住宅から高層マンションなどの都市型住宅まで、様々な住環境を有していることが、新潟市の特徴（新潟らしさ）です。

市民・民間事業者・行政の連携・協働によって、この「多様性」を生かしながら、豊かな市民生活を支える住環境の実現を目指します。



基本理念を実現するため、住生活の課題に対応した基本目標を定めます。

#### 基本目標

##### 基本目標 1

**住み慣れた地域で  
安心・安全・快適に  
暮らせる住宅・住環境の形成**

超高齢社会や災害への対応など、住宅や身近な住環境の安心・安全を確保する取組を進めるなど、住み慣れた地域で安心・安全・快適に暮らせる住宅・住環境の形成を目指します。

##### 基本目標 2

**誰もが安定した  
居住を確保できる  
多様な仕組みの構築**

高齢者や障がい者、外国人などの住宅確保要配慮者が安定した居住を確保できるとともに、市民がライフスタイルやライフステージに応じて適切な住宅を確保できる取組を進めるなど、誰もが安定した居住を確保できる多様な仕組みの構築を目指します。

##### 基本目標 3

**環境負荷の低減に貢献する  
住宅・関連市場の形成**

環境にやさしい住宅ストックの形成を促進するとともに、空き家を含めた既存住宅の有効活用を積極的に進めるなど、環境負荷の低減に貢献する住宅・関連市場の形成を目指します。

##### 基本目標 4

**多様な暮らしを実現する  
魅力ある住環境づくり**

農村集落のゆとりある住環境の保全とともに、まちなかや既存住宅地の良好な住環境の形成など、多様な暮らしを実現する魅力ある住環境づくりを目指します。

## 4. 基本的施策

基本目標を実現するための基本的施策を定めます。

### 基本目標1 住み慣れた地域で安心・安全・快適に暮らせる住宅・住環境の形成

#### 基本的施策1-1 人にやさしい住宅・住環境づくり

高齢者や障がい者、子育て世帯などが安心・安全・快適に暮らせるようにするために、人にやさしい住宅・住環境づくりに取り組みます。



#### 基本的施策1-2 災害に強い住宅・住環境づくり

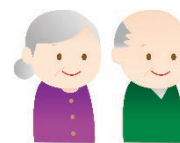
市民の生命や財産を守るために、地震や水害などの災害に強い住宅・住環境づくりに取り組みます。



### 基本目標2 誰もが安定した居住を確保できる多様な仕組みの構築

#### 基本的施策2-1 多様な住宅セーフティネット機能の充実

高齢者、障がい者、子育て世帯、外国人など住宅の確保に配慮を要する方々が安定して居住を確保できるようにするために、多様な住宅セーフティネット機能の充実に取り組みます。



#### 基本的施策2-2 適時・適切な住み替えを実現する仕組みづくり

世帯規模や状況に応じた住宅に暮らせるようにするために、適時・適切な住み替えの仕組みづくりに取り組みます。



### 基本目標3 環境負荷の低減に貢献する住宅・関連市場の形成

#### 基本的施策3-1 住宅のライフサイクルを通じた環境負荷低減

住宅づくりの面から持続可能な環境の実現に貢献するために、住宅のライフサイクルを通じた環境負荷低減に取り組みます。



#### 基本的施策3-2 リフォーム市場の環境整備

市民が安心して住宅のリフォームを実施できるようにするために、リフォーム市場の環境整備に取り組みます。



#### 基本的施策3-3 住宅ストックの適正管理

住宅を良好な状態に保ち、長く使い続けていくために、住宅ストックの適正管理に取り組みます。



#### 基本的施策3-4 中古住宅の流通市場の活性化

空き家を含む中古住宅の利活用を促進するために、中古住宅の流通市場の活性化に取り組みます。



### 基本目標4 多様な暮らしを実現する魅力ある住環境づくり

#### 基本的施策4-1 農村集落におけるゆとりある住環境の保全

農村集落を維持・活性化し、魅力ある暮らしを次世代へ継承していくために、農村集落におけるゆとりある住環境の保全に取り組みます。



#### 基本的施策4-2 市街地における良好な住環境の形成

まちなかをはじめとする市街地の暮らしの魅力を一層高めるために、市街地における良好な住環境の形成に取り組みます。

